

2 第1特集

保育の質を高める 遊びの「理解」と「援助」

2 座談会

子どもの関心や思いを十分に「理解」して
遊びの質を高める「援助」につなげるには

聖心女子大学文学部教育学科教授 河邊貴子
明治学院大学特命教授 赤石元子
認定こども園あかみ幼稚園園長 中山昌樹



8 ケーススタディ

遊びの理解と援助のあり方を
具体的な子どもの姿を通して学ぶ

13 遊びの理解と援助にまつわるQ&A

14 第2特集

「保育の専門性」を生かした保護者支援

14 インタビュー

保護者を受容し、子どもとの
関係づくりを支援する

関西学院大学教育学部教授 橋本真紀



18 ケーススタディ

20 特別企画

ワークショップ型の園内研修で同僚性を育む

24 Reader's Voice / 編集後記

「これからの幼児教育」ウェブサイトでは
全ての記事を無料でダウンロードできます

◎過去1年間の特集テーマ

2014年 夏号 幼児教育に求められる「遊びの質」とは何か

2014年 春号 集団の中で「主体性」を育むために園ができること

2013年 秋号 園の保育観を入園前の保護者にもわかりやすく伝えるには？

※本誌は最新号、バックナンバー等の追加発送は行っていません。



<http://berd.benesse.jp/magazine/en/latest/> または で

※ここでご紹介した内容、デザインなどは変更になる場合があります。



はじめに

運動会などの行事をきっかけに、子どもたちの成長が一段と感じられる頃
ではないでしょうか。その育ちを支援するために、環境構成や援助をいっ
そう工夫されているのではないかと思います。

前号の特集「遊びの質」は、保育の質の根本を改めて見直すという点で、
先生がたよりご好評をいただきました。

その一方で、日々の保育の中、遊び場面での「理解と援助」が難しく、具
体的な実践方法を知りたいという声も多数寄せられました。

今号の第1特集では、「遊びの質」を高めるための「理解と援助」の具体
的な方法について、専門家や現場の園長先生の座談会と2つの事例を通し
て、考えていきます。

また、近年、地域のつながりの希薄さや保護者の孤立化など、家庭を取り
巻く環境が変化している中で、園の役割として保護者支援を通じた家庭の
教育力・養育力向上が期待されています。第2特集では、保育の専門性を
生かした保護者支援のあり方を探ります。

子どもたちがますます育つ今だからこそ、小誌で園の活動を今一度見直す
きっかけにいただければ幸いです。

「これからの幼児教育」編集長 橋村美穂子

